

# 地域コミュニティ、町内会・自治会の先進事例調査

## 1. 地域活動の重要性の浸透（他事例）

### 東京都立川市

<b>【市の概要】</b> 人口：178,043人 面積 24.38km <sup>2</sup>
<b>【概要】</b> 大山自治会 世代別役員構成の導入により、若手の自治会参加を図る改革に取り組み、イベントや事業の企画・運営などに、幅広い世代が参加する自治会活動が展開されている。 幅広い世代で自治会役員を構成する別体制の導入が、若手の積極参加、加入率 100%・会費未納率ゼロの達成とともに、団結力のある積極的な活動を生み出している。
<b>【具体的な内容】</b> 相談・連絡広報体制の整備 相談窓口を設置し、住民からの相談を受ける体制を整備。窓口時間外でも、自治会長専用携帯電話で、24 時間いつでも緊急の連絡がとれる体制を整えた。また、活動を周知する広報紙の発行や、居住外国人のために自治会の取組みや安全対策などを掲載した外国語パンフレットの作成を行う。 住民登録の義務(自治会加入率 100%) 緊急時に備えて住民の情報を収集登録し、必要に応じて民生委員、高齢福祉課、社会福祉協議会、包括支援センターと連携。住民安全確保のため、住民名簿を消防署、民生委員と共有。 <b>【登録情報】</b> 全住民の名簿(家族構成を含む)、車両、動物飼育者、高齢者(65 歳以上)の連絡先 防災組織の強化 自主防災組織を結成して担当を決め、災害時の役割を分担し認識。防災訓練で組織充実改善を図る。また、女性防火の会の設置や各区に連絡員を配置。救命講習受講費の自治会負担などで防災リーダーの育成を図る。施設の非常ベルの点検、高齢者の出火防止のための講習会(年 3 回)や消火器の点検を実施。 路上違法車両撲滅(路上の確保) 非常時に緊急車両の妨げにならないように、ベンチを兼ねた駐車防止用 U 字溝の配備や、立川警察と連携した路上駐車撲滅運動(月 4 回)を実施。駐車排除だけでなく外来者専用駐車場(120 台)を設置。 イベントを通じた防災活動 地域内の防火・防災設備や避難経路・場所などを確認できるよう工夫をしたウォークラリー大会などのイベントを通して住民の防災意識を高めている。 事業者との連携 電気・ガス・水道・新聞配達業者と連携し、使用状況などから心配と思われる場合は、各事業者から自治会へ連絡する体制を整えた。

## 東京都荒川区

### 【市の概要】

人口：207,735人 面積 10.20km<sup>2</sup>

### 【概要】

あらかわの心推進運動区民委員会

誰もが気軽に参加できる活動として、誰かを支え合う「おせっかい」を促す広報・啓発活動「おせっかいおじさん・おばさん運動」を展開（ポスターの提示、おせっかい体験談の配布、寸劇の実施など）。

「あらかわの心」推進運動区民委員会は、地域のあらゆる団体（PTA・学校・町会・地区委員会等）が参加団体として名を連ねており地域全体参加の住民主導の活動を展開

東京都の「心の東京革命」推進モデルに指定

### 【具体的な内容】

・「あらかわの心」推進運動

「あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守り」の5つの取組（自主防犯パトロール、環境美化活動、挨拶運動）

・おせっかいおじさん・おばさん運動

誰かと支え合う「おせっかい」を促す広報・啓発活動（ポスターの掲示、冊子「おせっかい体験談」の配布、寸劇の実施等）

対象：次代を担う子どもたち

### 【活動実績等】

・平成19年1月6日付の東京新聞には、川本三郎氏（評論家）のコラムの中で「おせっかいおじさん・おばさん運動」PRポスターのことが書かれている。

・この運動の一環として、「おせっかい体験談」リーフレットを5,000部作成。住民の気付きの体験談が寄せられた。

・おせっかいおじさん・おばさん運動を周知するため、「あらかわの心」ホームページを開設して情報を発信。関西の自治体や大学から問い合わせを受けるなど、意外な反響があった。

### 【課題と今後の展望】

今後は事例紹介やポスター掲示の継続など、啓発活動を中心に取り組んでいくが、その中で、より多くの人に関心を持ってもらうための工夫が必要。

子育て中の若いお父さん・お母さんにも興味を持ってもらい、おせっかいおじさん・おばさん運動から、いわばおせっかいお兄さん・お姉さん運動へ発展していかなければならない。

## 2. 役員の負担軽減および育成の方策（他事例）

### 岐阜県瑞穂市

#### 【市の概要】

人口：52,841人 面積 28.19km<sup>2</sup>

#### 【概要】

本田団地自治会連合会

高齢化が進む住宅団地の活性化に向けて、若手主体の活性化委員会を設立、地域の祭りの復活や防災訓練等に積極的に取り組んでいる。若手主体の活性化委員会に企画・運営を委ねることで、内部の担い手の育成が図られている。

#### 【具体的な内容】

消防署の指導のもと、自主防災訓練を実施

- ・年3回実施（春、秋、冬）毎年実施
- ・訓練内容：情報伝達訓練、避難誘導訓練、救出及び搬送訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練など  
高齢者や子どもも含め誰でも参加できることを第一に考え、当初は小中学校で行うような単純な避難訓練を行った。  
回を重ねるごとに、少しずつ訓練内容のレベルを上げていった。
- ・ガムテープにマジックで氏名を書き、胸に貼る
- ・各自治会で集合した際、要援護者、高齢者等の安否確認を行う
- ・塀が崩れたことを想定し、1列に並んで避難所まで移動する

#### 【活動実績等】

自治会、組単位の参加人数と参加軒数を発表することで、参加意欲の向上を図った。

誰でも参加できる単純な訓練から始め、回を重ねるごとに訓練内容のレベルを上げた。

地域における人と人のつながりは強くなっている。

○取り組みのかぎとなる活性化委員会については、運営費を拠出しても、企画・運営は若い人に任せるようにしている。

### 3. 活動の充実（他事例）

#### 島根県松江市

##### 【市の概要】

人口：206,404人 面積 573.01km<sup>2</sup>

##### 【概要】

法吉地区あんぜん・あんしんネットワーク

災害時要援護者の支援として、要援護者を「おねがい会員」、支援者「まかせて会員」として、災害時における安否確認と避難誘導のほかに、日常的な見守り活動を行う体制づくりを行っている。

##### 【具体的な内容】

防犯パトロール、子どもの安全確保、青少年の健全育成を柱に、具体的には、高齢者・障がい者の安全確保、子どもの見守り活動、街頭パトロール、車によるパトロール、危険箇所点検、交通安全対策、広報活動などの活動を展開している。

##### 二輪車を活用した地域巡回

地区内の狭隘な路地の見守り活動やパトロールに、自転車などの二輪車の活用を提案して平成20年7月28日に「自転車見守り隊」を結成。前かごに『地域安全見守り隊』と記したプレートを掲げ、買い物時などに気軽に活動に参加できるよう工夫。

##### 災害時要援護者への支援（災害時における地域での助け合い）

要援護者を「おねがい会員」、支援者を「まかせて会員」として災害時における安否確認と避難誘導のほかに、日常的に見守り活動を行う。また、「おねがい会員」の動静については、自主防災組織・自治会・民生委員などの代表が定期的に集まって情報交換を行い「まかせて会員」を調整するなど万が一に備える。

##### 【活動実績等】

「自転車見守り隊」では、運転免許を持たない高齢者や女性の参加が積極的に行われ、島根県内でも初めての取組として注目された。

平成18年7月の豪雨災害は多くの浸水家屋をもたらしたが、いち早く「おねがい会員」に対して「おまかせ会員」による安否確認が行われ、「おねがい会員」にとって大きな心の支えになった。

#### 4. 地域連携ネットワーク（他事例）

##### 滋賀県東近江市

###### 【市の概要】

人口：116,021人 面積 388.58km<sup>2</sup>

###### 【概要】

蒲生地区まちづくり協議会

自治会単位のまちづくりを基本としつつ、自治会連合会を単位で「まちづくり協議会」を結成。団塊の世代前後の男女を対象とした地域デビュー応援塾から誕生した「応援塾」、世代間交流事業「あかねGOSHU」、「婚活応援セミナー」など、世代に合わせた地域に溶け込む支援を実施している。

###### 【具体的な内容】

「応援塾」の活動支援

- ・団塊の世代前後の男女を対象に、地域での仲間づくりと生きがい探しを目的に「地域デビュー応援塾」を開講、OBが「応援塾」を組織。
- ・「応援塾」が「縁側カフェ」や各種イベントに出前コーヒーサービスを通して、地域での仲間づくりや活動を発展させている。
- ・第2期以降の講座の開催には「応援塾」が、スキルアップしながら、後輩のサポートに回ってもらう体制ができた。

世代間交流事業「あかねGOSHU」の活動支援

- ・踊りを通して地域を元気にしようと毎週土曜日の夜、鳴子を持って元気いっぱい楽しみながら練習。
- ・夏祭りや文化祭など蒲生地域の各地で開催されるイベントに出演  
子ども達の教室マックスクラブの指導をしながら、健康づくり、仲間づくりをしている。

「婚活応援セミナー」の開催

- ・独身の男女とその両親に、自分磨きの講座や出会いの場を提供。
- ・地域が誇りとする博物館や史跡等を活用して、体験や共同作業などを取り入れ地域の再発見をしてもらうように工夫している。

###### 【活動実績等】

「応援塾」の活動支援

平成19年12月に開講した第1期「地域デビュー応援塾」では、団塊世代の男性を中心に地区内外から約60人が参加。

世代間交流事業「あかねGOSHU」の活動支援

平成21年5月に、江州音頭をアップテンポにアレンジして踊ろうと呼び掛けた結果、多くの女性達が集まった。その後、「あかねGOSHU」を発足し、老若男女30数名が会員を増やしながら地域を元気にしている。

「婚活応援セミナー」の開催

平成22年11月に、婚活応援セミナーVOL.1「お節介おじさんおばさんの勉強会」を開催。その後、独身の男女とその両親を対象に、お節介おじさんおばさんによる「婚活応援セミナー」を開催。地域の課題解決を通して、団塊世代の男女の仲間づくりや生きがいづくりの場となっている。

## 神奈川県相模原市

### 【市の概要】

人口：721,105人 面積 328.8km<sup>2</sup>

### 【概要】

篠原牧馬自治会とNPO法人「篠原の里」

平成15年に篠原小学校が閉校になり、跡地利用として地元で管理して欲しいと旧藤野町から打診があった。

これに対し、地域の良い所を残しつつ、より良く成長させたいとの思いから、自治会、老人会、消防団など地元の組織の代表で構成する篠原地域振興協議会において引き受けることになった。また、実際の管理主体をNPO法人にしようということになり、平成17年にNPO法人を設立し、旧藤野町と5年間の契約を行った。

### 【具体的な内容】

・活動主体はNPO法人「篠原の里」であり、自治会から自治会長を含む2名がNPO法人の理事となるなどの連携を図っている。

NPOの事業

・廃校の教室を改造して泊まれるようにした宿泊事業、地域の畑での農業体験などの体験型事業、のびるっ子会（市認定保育園）の運営、金曜日に行われる保育園児の保護者向けお茶会『里カフェ』、わはは（子育てサロン）の運営、たくみの会（ロバの音楽会・鳥の巣箱作り）、炭焼きクラブ（炭焼きの体験学習）、食堂部会（レストラン運営）、地域通貨とも言える『篠券』の発行等と幅広く行っている。

運営状況

・運営費について、市から補助金は一切受けておらず、主な事業の支出は宿泊事業の収入および会員会費でまかなわれている。なお、保育園については会計が独立している。

・NPO会員は約35人で、半数がNPOと自治会両方の加入者である。芸術家やその夫婦など、若い世代も多く所属している。

課題や展望

・NPO法人の活動は、いずれの事業についても特定の住民しか参加、利用していないことが課題となっている。旧藤野町時代から、町が芸術振興に力を入れていたこともあり、篠原牧馬の周辺にも芸術家が多数住んでおり、NPO法人の活動にも参加している。芸術家のように特別な技術を持っている人は活動に参加しやすいものの、普通の住民にとっては、参加しにくい状況がある。設置当初は、地域の住民全員が参加をすることを目論んでいたため、誰もが参加しやすい活動の展開が課題となっている。

・また、高齢化が進んでいることも参加者数の低下につながっていると同時に、参加が可能な年齢層の住民についても、仕事の合間を縫って参加することに抵抗もあるため、そうした層の取り込みも課題となっている。活動への参加者が少ないことは、参加している住民と参加していない住民との間に地域活性化に対する意識の差を生んでいることも課題の一つ。

・自治会長としては、篠原の里の活動に地域の住民の全員が参加するようになって欲しいと思っています。そして、都市部からの篠原の里を利用する人が増えることと、良いルールをつくり、マナーを醸成し、地域住民と真心の籠もった交流をし、地域の活性化に努力していきたいと思っています

## 三重県津市

### 【市の概要】

人口：281,058人 面積710.81km<sup>2</sup>

### 【概要】

自治会とNPOの協働で立ち上げる「美里町長野まちおこし協議会」

- ・自治会は地域のとりまとめは得意だが、プランニングしたり、実際に動いたりするのはNPOが得意。
- ・自治会とNPOが連携することで、お互いの弱い部分を補いながら、強みを活かしている。
- ・今までなかった相互のつながりができた。

### 【具体的な内容】

美里町の中でも最も少子高齢化が進んでいる長野地域において、2012年3月、地域活性化を目的に地域内の6つの自治会の会長がメンバーで、「長野まちおこし協議会」設立準備委員会ができた。しかし、実際にまちおこし協議会設立準備委員会が立ち上がった後、何を優先的に解決するかで意見が分かれ、高齢者が中心で良いアイデアがなかなか出ないため、地元のまちおこしNPOとその仲間に参画していただき、協働していくことになった。

また、9月には全区（6つの自治会）を対象に、地域に本当に必要なものを聞くためのアンケートを行った。この結果も踏まえながら、2013年に協議会を立ち上げる予定。

## 三重県名張市

### 【市の概要】

人口：79,075人 面積129.8 km<sup>2</sup>

### 【概要】

名張地区まちづくり推進協議会

- ・NPOと協働したことで、企画が子どもや若い世代・に親しめるものになった。
- ・地域コミュニティとNPOとの関係づくりのノウハウが相互に蓄積されることとなった

### 【具体的な内容】

名張地区まちづくり推進協議会が、毎年実施している「隠（なばり）街道市」の一つの事業として、特定非営利活動法人みどりの絆と協働して、2012年11月、「親子で防災について考える」を初めて開催した。これは、共有できる地域性を持った比較的近隣地域（初瀬街道周辺地域）と交流することで、大規模災害発生時に備えた近隣地域との関係づくりを目的とするものである。午前の部として、「こどもと保護者を自然災害から守るには」をテーマに基調講演、午後の部として、各地域ゆかりの食を使った炊き出しや非常食の試食、親子で防災を学ぶコンサートなどが行われた。地域づくり組織と各種団体が、NPOの呼びかけにより、協働して地域課題を掘り起こして、まちづくりを進めていこうとする取組である。